

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和6年2月29日（木）

### 2 確認箇所

- ・瓦礫類一時保管エリアCC
- ・瓦礫類一時保管エリアF1、F2

### 3 確認項目

- (1) 瓦礫類一時保管エリアCCの状況
- (2) 瓦礫類一時保管エリアF1・F2の状況

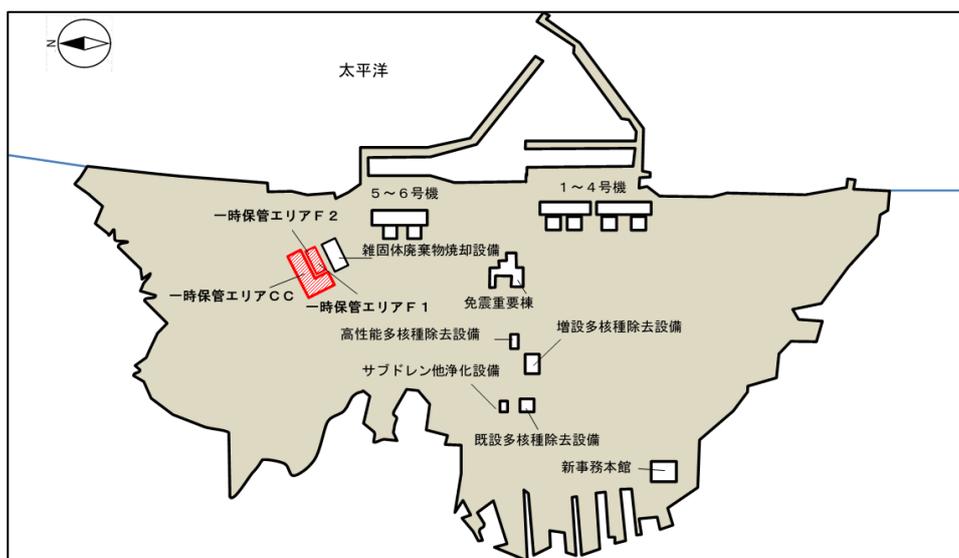
### 4 確認結果の概要

#### (1) 瓦礫類一時保管エリアCCの状況について

東京電力では、廃棄物管理の適正化のため、令和4年度に実施計画を変更し、一部を除く仮設集積場所を瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）へ変更している。今回は計画変更により新たに追加された一時保管エリアのうちの1つである一時保管エリアCC及びその近傍に設置されている一時保管エリアF1・F2の状況を確認した。（図1）

（前回確認：[令和5年5月24日](#)）

- ・一時保管エリアCCはL字型で形成されており、L字の縦（北側）の部分にはコンテナの確認等作業をするエリアが単管パイプのバリケードで区画され、L字の横（南側）の部分のほとんどはコンテナが占有していた。（写真1）
- ・エリアは一部を除き鉄板が敷かれており、一部のコンテナの下部には高さを調整するために板が噛まされていた。大部分のコンテナは6m<sup>3</sup>コンテナであり、6m<sup>3</sup>コンテナは1～3段、その他のコンテナは1～4段積みで保管されていた。（写真2）
- ・コンテナから回収した内包水を溜めているとみられる樹脂製の容器が2基仮置きされていた。（写真3）
- ・現場では、作業員がエリア内のコンテナ数を確認していた。（写真4）
- ・一部表面に錆が生じたコンテナを確認したが、目視で確認した範囲で穴の開いたコンテナや内容物の流出等の異常は見られなかった。（写真5）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)  
一時保管エリアCCの状況①



(写真1-2)  
一時保管エリアCCの状況②



(写真2-1)  
一時保管エリアCCの状況③



(写真 2 - 2)  
一時保管エリアCCのコンテナの保管状況①



(写真 2 - 3)  
一時保管エリアCCのコンテナの保管状況②



(写真 3)  
回収された内包水を入れた容器



(写真 4)  
作業員の現場確認の状況



(写真 5)  
表面に錆が生じたコンテナの例

(2) 瓦礫類一時保管エリアF1・F2の状況について

令和6年2月7日に発生した高温焼却炉建屋（以下「HTI建屋」という。）東側壁面の配管（第二セシウム吸着装置に接続する水素ガス排出用の排気管）からの放射性物質を含む水が漏えいした事象について、漏えい箇所及びその周辺から撤去した土砂等の搬出先及び隣接する一時保管エリアF1、一時保管エリアF2の現況を確認した。（図1）（前回確認：一時保管エリアF1：令和6年2月21日、一時保管エリアF2：令和5年5月15日）

- ・一時保管エリアF2の南側には、HTI建屋からの汚染水漏えいにより回収した土砂等を詰め替えするエリアが区画されており、10ftハーフハイトコンテナが2基仮置きされていた。（写真6）
- ・一時保管エリアF1には鉄板が敷かれ、6<sup>m</sup>コンテナが3段積みで保管されており、一時保管エリアF2では、1<sup>m</sup>コンテナが2～4段積みで保管されていた。（写真7）
- ・目視で確認した範囲で穴の開いたコンテナや内容物の流出等の異常は見られなかった。



(写真6-1)  
一時保管エリアF2南側の詰め替え  
エリアの状況



(写真6-2)  
詰め替えエリアの10ftハーフハ  
イトコンテナの接写



(写真7)  
一時保管エリアF1・F2のコンテ  
ナの状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。